

ご存知でしたか？

狂犬病により年間5万人の方が亡くなっていることを

国内では、昭和32年以降狂犬病の発症者は出ておりませんが、世界に目を向けてみると、発生が見られない国は、わが国を含めて10か国しかありません。

また、狂犬病は世界に現存する「人と動物の共通感染症」の中でも最も恐ろしく、発症してからでは現代医学をもってしても治療不可能な疾病であるにもかかわらず、

長い間、国内での発症がないために安易に考えられがちな病気なのです。

平成18年8月に、海外で犬に咬まれた日本人男性が狂犬病に感染し、亡くなられたという報道は記憶に新しいところだと思います。

国内でこのような悲惨な事故を引き起こさないためには、国内にいるすべての犬が狂犬病予防注射を

■問い合わせ
社団法人福島県獣医師会
会 県南支部
☎0248-22-5487

接種する以外にはありません。万が一あなたの飼い犬が狂犬病に感染すれば、身近にいるあなたが被害者になるのです。生後91日以上犬を飼われているみなさんは、必ず犬の登録（生涯1回）と毎年の狂犬病予防注射を受けさせてください。あなた自身の身を守るためにも：

9月10日は

国際自殺予防デー

9月10日から毎月10日は「自殺予防 いのちの電話」がスタート

■問い合わせ
日本いのちの電話連盟
フリーダイヤル
☎0120-738-556

日本では、1998年以降、年間の自殺者が毎年3万人を超えています。

毎日80～90人の命が自殺によって失われています。

これは交通事故で亡くなる方の約3倍に当たります。

「誰にもわかってもらえない…」
「もうどうすることもできない…」

そんな孤独と絶望の中で悩み苦しんでいる人々の声に耳を傾け、受け止めることによって、その人の《こころ》が少しでも和らぎ、希望と勇気をもって再び生きていかれることを願い開設されたのが「フリーダイヤル『自殺予防 いのちの電話』」です。2007年9月から2008年3月までの期間、

毎月10日の午前8時から翌日午前8時までの24時間、全国「いのちの電話」センターをネットワークとして通話料無料の電話相談を行います。（匿名で可能）
ここが寂しくなったとき、ひとりで悩まないで、こころの苦しみを話してください。

今でも年間約3万人が新たに発症しています 忘れていませんか、結核

結核予防週間 9月24日から30日

結核は過去の病気ではありません。福島県では、年間約250人の方が新たに結核にかかっています。（平成18年度261人）そのうち、約6割が60歳以上の方となっています。（平成18年度167人、64％）結核は、人から人にうつる感

染症です。自分が結核だと気づかず周囲の人々にうつしてしまうことがあります。

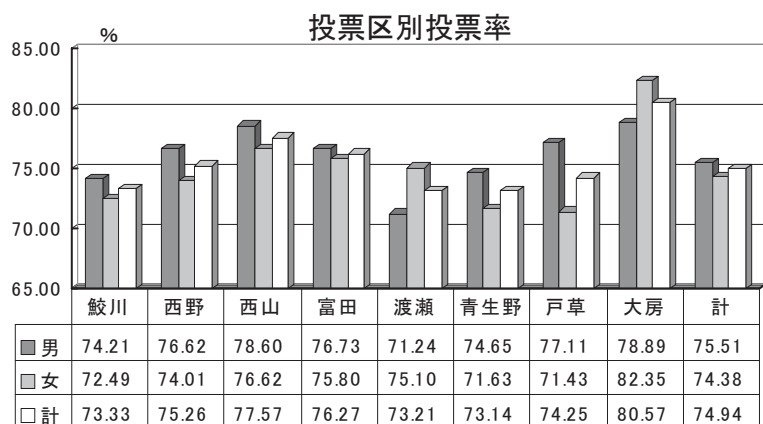
■こんな時はすぐに病院へ：長引く咳（2週間以上）、タンが出る、胸の痛みなど

■発見されにくい高齢者の結核：咳・タンなど目立った症状があ

■問い合わせ
県南保健所
医療薬事グループ
☎0248-22-6405

らわれにくいのが高齢者の結核の特徴です。

■生後6か月までに必ずBCG接種を受けましょう：BCGは、早期に結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です。



参議院議員通常選挙

村の投票率は
74・94%

7月29日（日）に執行された第21回参議院議員通常選挙（参議院福島県選出議員選挙、参議院比例代表区選出議員選挙）の村の投票率は、74・94%でした。参議院議員通常選挙の投票区別の投票率は次のとおりです。

■問い合わせ 村選挙管理委員会
☎49-3111